

広報あさし

No.328

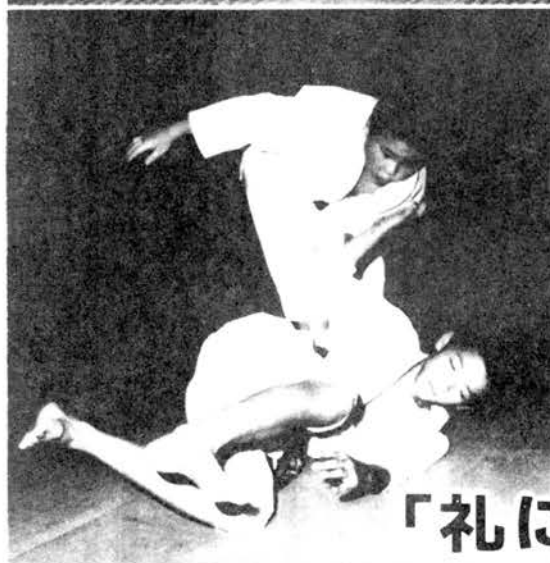
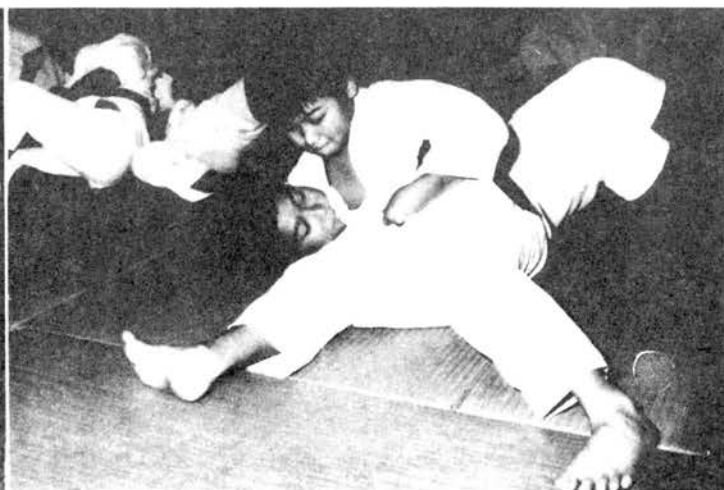
昭和57年12月10日発行

編集 朝日町役場
発行

下新川郡朝日町沼保810-5

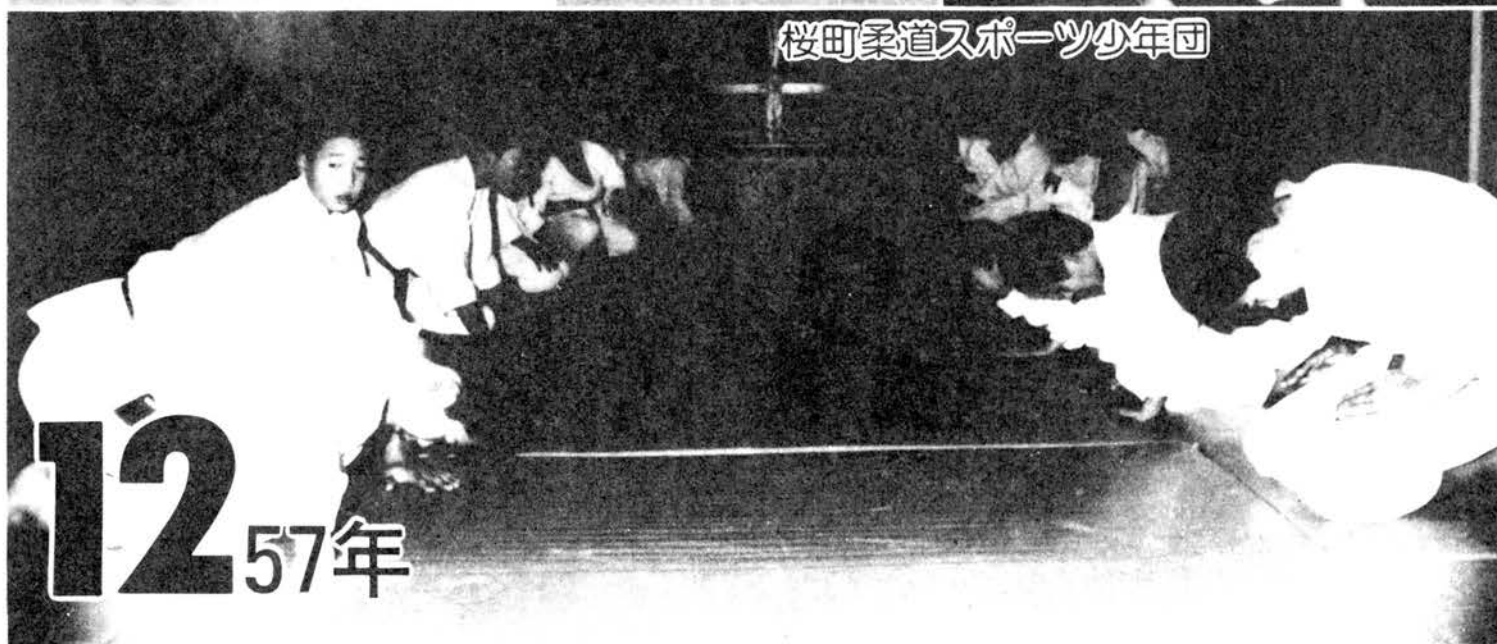
☎(07658)3 1100(〒939-07)

印刷 高田印刷



「礼に始まり礼に終わる」

桜町柔道スポーツ少年団



12⁵⁷年

あなたに 57年は？

昭和58年は、癸亥（みずのとい）の年にあたります。そこで、亥年生まれの方々に、今年をふり返り、来たるべき新しい年にそなえていただくアンケートをいただきました。



山岡 良子さん
昭和34年生
(大平)

あなたにとって57年は？
いろいろ考えることがありますが、雨にも負けず、風にも負けず、日曜日にも休まず一生懸命働いた一年でした。
来年はどんな年に？
年女という24歳。お肌の曲り角にあと一歩。何事にも挑戦したいが、何をやるにも健康第一、元気でいられれば良いです。

町行政に望むこと
豊かで美しい自然環境にある朝日町。今年から特産も増えました。観光開発や企業誘致など若者が定着できる活気のある町作りを。



水野 郁子さん
昭和22年生
(山崎辻)

あなたにとって57年は？
仕事と育児に追われ、あつという間に過ぎた1年でしたが、まあ幸せな1年だったと思います。
来年はどんな年に？
子供にも手がからなくなり、時代に乗り遅れないよう、スポーツや世の見識を深めるなど、いろんな事に挑戦したいです。

町行政に望むこと
就職難で町外に行く若者を見るにつけ、積極的な企業誘致で活力ある町にしてほしいです。



寺田 としさん
大正12年生
(泊栄町)

あなたにとって57年は？
孫も7人目を迎え、毎日が楽しく、忙しい1年でした。
来年はどんな年に？
健康でだれとでも楽しく語り合いたい。また、趣味を広げて残る人生を楽しみたい。

町行政に望むこと
豊富な観光資源を生かしてほしい。また、若者がUターンして来る魅力ある町を望みます。

57年をふり返って

57年も、そろそろ終わりを告げようとしています。さて、57年には、当町にどのような発展がありましたか？朝日中学校も開校し、朝日電電も計画から実施に。

将来の町発展の礎となる大きなでき事がいろいろありました。そこで、この年のおもなでき事を、広報紙のなかから拾ってみました。

朝日中学校が開校

昭和54年度から3カ年計画で、総工費13億5千万円を費して建設が進められていた新校舎も、3月には完成しました。このため、泊・小川両中学校で創校以来の35年の歴史に終止符を打つ開校式が3月7日に行われ、4月1日から両校を統合した朝日中学校として、新校舎で再スタートを切りました。新校舎は、鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ7358平方メートルの校舎や2396平方メートルの体育館、階上体育館、階下90名を収容できるラウンジルーム、英語教育のしし教室などが整備された近代的な施設です。



町長と議会議員選挙を実施

中川雅一氏が4月28日、健康上の都合を理由に辞表を提出され、辞任に同意を求める臨時議会が5月1日に開かれ、承認されました。このため町長選挙は、6月5日に告示されたものの、寺崎実氏以外に立候補者がなく、無競争で寺崎実氏が町長に就任。

また、任期満了に伴う朝日町議会議員選挙は、8月8日に投票が行われ、即日開票の結果、18名の新議員が決まりました。しかし、下位2人の得票が同数で並んだため、公選法95条2項に基づき、抽選で最後の当選者を決める異例のケースでした。

朝日小川発電所が着工

朝日小川第一・第二発電所の起工式が11月10日に行われ、総工費4億4千万円をかけ、昭和62年2月を目途に、進められることになりました。同計画は、第一、第二発電所を含む、せせ5万7千KWを発電するもので、活気ある町づくりの礎として大きな期待が寄せられています。



町行政に望むこと

- ・1月、15日成人式、269名が新成人に。
- ・3月、泊・小川両中学校が閉校。
- ・7日、泊・小川両中学校が閉校。
- ・総合グラウンドにクラブハウスが設置される。
- ・4月、1日、朝日中学校が開校。
- ・不動産巨大住居跡を復元。
- ・5月、

町行政に望むこと

- ・1日、中川雅一氏町長を辞任。
- ・6月、13日、新町長に寺崎実氏。
- ・7月、1日からゴミ収集を民間委託。
- ・30日、西ドイツスポーツ少年団来町。
- ・8月、町議会議員選挙が行われ、18名の新議員が決まる。
- ・泊高校の山部女子部員がインターハイに出場、3位に入賞。
- ・10日、朝日小川第一・第二発電所の起工式。
- ・15日から泊駅にも特急が停車。
- ・12月、26日、参議院議員補欠選挙。

町行政に望むこと

- ・3日、朝日町少年消防クラブが結成される。
- ・4日、広域基幹道路「烏帽子山線」が着工。
- ・14日、大相撲新川場所が開催。
- ・11月、10日、朝日小川第一・第二発電所の起工式。
- ・15日から泊駅にも特急が停車。
- ・12月、26日、参議院議員補欠選挙。



藤村 均さん
昭和34年生
(桜町)

あなたにとって57年は？
車掌業務に替わり、お客様と接することで、改めて国鉄の置かれている現状を肌で感じた。
来年はどんな年に？
自分の仕事に誇りと喜びを感じており、この気持ちを仕事につけて、国鉄のイメージを少しでも良くしたい。

町行政に望むこと
今年から特急が停車するようになった。美しい自然の私達の町をもっと広くアピールすべきです。



高瀬 宣博さん
昭和22年生
(井ノ口)

あなたにとって57年は？
子供が小学校に入學し、子供の将来や親としての責任の重さを感じるようになりました。
来年はどんな年に？
健康管理に留意し、日常生活や仕事でより充実した悔いのない一年を送りたいと思います。

町行政に望むこと
活気に満ちた魅力ある郷土づくりの実現と地域農業再編



水島 行雄さん
昭和10年生
(宮崎)

あなたにとって57年は？
今年はずっと冷夏の影響で非常に厳しい年でした。また、体調を崩すなど不本意な年でした。
来年はどんな年に？
健康に注意し、全力で仕事に取り組みたい。

町行政に望むこと
長期を展望し、後手に回らない先取りした行政の実施を。



勝原 理さん
大正12年生
(南保越)

あなたにとって57年は？
定年退職し、農業に従事。生活形態が変わったと思える年でした。
来年はどんな年に？
いつのまにか老年期に入りましたが無病息災で充実した年を送りたいと思います。

町行政に望むこと
①スーパー農道の建設促進
②朝日中学通学道路の安全対策
③土地改良、森林組合を役場内に入れれば住民にとって便利



清水直次郎さん
明治44年生
(金山)

町行政に望むこと
大勢の人が集まり、種々の催し物ができる町民文化会館があればいいと思います。

あなたにとって57年は？
病氣もなく、家庭円満で、大勢の友達からも声をかけてもらい幸せな年でした。
来年はどんな年に？
友を大切にしたい人生を。



菊地 八重さん
明治44年生
(泊本町)

雪のない道路は みんなの協力で！

いよいよ冬の季節です。雪道も快適で安全な交通を確保するため、除雪体制を整えて待機しています。除雪効果を高めるために、みなさんの積極的な協力をお願いいたします。

除雪時間は？

降雪状況により適宜実施しますが、通勤通学にあわせ早朝除雪を重点とします。

路上駐車はやめて

車の路上放置は除雪作業を妨げるばかりか、ドカ雪が降ったり吹雪のときには判別ができません。除雪車が衝突する危険があります。故障駐車の場合は、赤旗等で車幅を表示し、運転者の所在を明らかにしたメモを置いてください。

家の前の雪は

除雪車による玄関先の雪や屋根雪はそれぞれの家庭で排雪処理してください。

被害の防止のために標識を！

除雪車による被害を受けやすい道路沿いの物件（植木、へい垣、畦畔等）には注意標識（赤布を付けたサオ）などを設けてください。



生活道路はみんなで除雪を

機械除雪にも限度がありますので、部落内の生活道路は近所のみみんなで除雪してください。

苦情・要望は町内会を通じて

困難な除雪事態に対し、まず寛容をお願いし、ご意見や苦情はできるだけ町内会役員を通じてください。

各道路の除雪担当連絡先は

国道＝建設省黒部国道維持出張所
（0765-5211714）
県道＝富山県入善土木事務所
（0765-7211133）
町道＝朝日町役場内除雪本部
（03-11000）
（時間外直通 03-11004）

また、家庭でも交通安全について話し合い、互いに注意しましょう。

運動の重点

▼飲酒、暴走運転の防止
▼積雪、凍結時の交通事故防止
▼シートベルトの着用

安全運転 5つの原則

- ①安全速度を必ず守る。
- ②カーブの手前でスピードを落とす。
- ③交差点では必ず安全を確認する。
- ④一時停止で横断歩行者の安全を守る。
- ⑤飲酒運転は絶対にしない。

無事故で年末・笑顔で年始

12月1日～1月10日は

年末・年始の交通安全県民運動を実施！



年末・年始はとくく気ぜわしさと交通混雑から、交通事故の多発が予想されます。県内の交通事故による死亡者は、すでに前年の82名を上回っており、各方面で安全運転の協力が呼びかけられています。

12月に入り、これからは忘年会など飲酒の機会が多くなると思いますが、一人ひとりの強い自覚と行動により、飲酒運転などの無謀運転は絶対にやめ、交通ルールとマナーを守り、交通事故を起こさないようにしましょう。

駅長さんから

11月15日から特急が上り・下り各2本ずつ停車し、首都圏への日帰りや逆に東京から泊までの日帰り旅行が可能になりました。せっかく止まった特急です。皆さん大いに利用してください。また、皆さんの親戚の方々にも利用するよう呼び掛けてください。さて、特急の停車とともに次の点で改善され、皆さんが泊駅を利用しやすくなりました。

定期券で特急を

泊駅では、北越号の自由席に限り、通勤・通学定期券を利用し、特急券をお求めになれば、富山～糸川間の乗車ができます。

手荷物・小荷物の取扱い時間が延長

手荷物・小荷物の取扱い時間は1時間延長し、午前8時30分から午後6時（従来は午後5時まで）までとなりました。

特急券・指定券の購入は泊駅で

特急券や指定券及び乗車券は国鉄線のどの駅でも乗車されるものであっても、泊駅で発行できます。例えば、入善で乗車される特急の指定券や乗車券も泊駅で購入できます。ぜひ、泊駅のご利用をお願いします。

東京へも日帰りで！

泊駅に特急が停車

1時30分～9時30分 短縮

東京がぐんと近くに

上越新幹線の開業に伴うダイヤ改正で泊駅にも停車することになった北越1号（泊駅発7時4分）に乗り換えれば、長岡に8時58分着、15分の待ち合わせで上越新幹線あさひ150号（長岡発9時13分）に乗り換え、大宮に10時40分着、21分の待ち合わせでリレー12号（大宮発11時1分）に乗り換え、上野に11時27分に到着する。このことは、これまで（泊8時1分普通列車、糸川で8時43分発白山2号に乗り換え上野着14時）より約1時間30分も短縮できるほか、入善駅で乗れる白山に比べても1時間以上短くなります。さて帰路は、上野発16時17分の



リレー37号に乗ると、大宮、長岡で乗り換え、泊駅に20時33分に。これまでは、東京へ行くと2日ばかりが常識。しかし、これからは、東京で約5時間も滞在し、その日のうちに帰宅することが可能になりました。

特急停車にひとこと

私は、11月15日に、泊駅から北越1号に乗って東京の本社の午後1時からの会議に出席しました。これまでは、泊駅発5時12分のきたぐにでないと間に合いませんでしたが、約2時間の余裕ができました。また上越新幹線も、東海道線に比べ、振動や騒音がなく快適でした。便利になったことは評価できるが、帰路にもう少し遅い列車があればもっと良かったと思います。また、早く北陸新幹線ができれば……と思いました。



宮本町（72歳）
小坂 林松さん

私は、15日に初めて停車した北越号で東京の息子の所に行ってきました。上越新幹線は、とっても速く、しかも座席前においたコップの水が一滴もこぼれない程揺れない。まるで飛行機に乗っているみたいでした。乗り換えにもエスカレーターが設けてあり、不便は感じませんでした。夕方5時頃に帰る北越があれば言うことないと思います。



昭和56年度の決算額は一般会計と特別会計合わせて

歳入 52億 886万円(前年度 49億5,136万円)
歳出 49億8,450万円(前年度 48億3,529万円)

一 般 会 計

歳 出

生活環境の整備

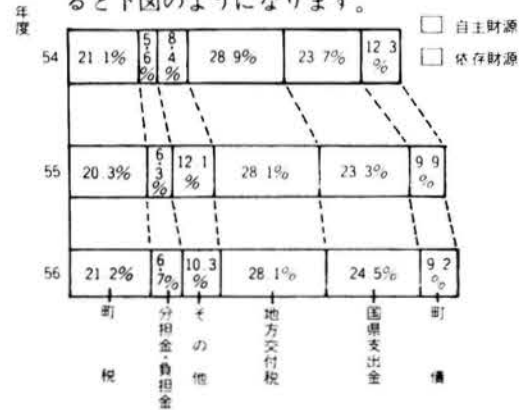
収 支

昭和56年度の一般会計決算額は、
歳入 44億1,546万円(42億4,160万円)
歳出 42億3,474万円(41億5,187万円)
 で差引1億8,072万円の黒字となりました。これは57年度歳入への繰越金として使用されます。

※()は前年度

歳 入

歳入については、対前年度比 4.1%の伸びを示しており、これを自主財源(町が賦課し、徴収する等により自分の手で確保できる収入)と依存財源(国や県から額が定められる収入)に分けると下図のようになります。



国県支出金については、朝日中学校の建設、公営住宅建設、都市計画事業など、投資的経費にともなう補助金が7億3,785万円、老人医療給付が9,793万円、保育所措置費が8,971万円が主なものです。

分担金、負担金については、保育料1億3,083万円、農道事業などで1億6,574万円となっています。

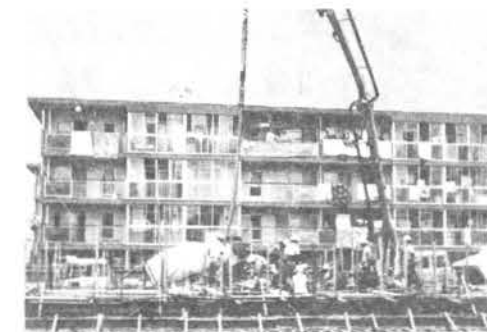
その他には各種手数料、寄付金、財産収入、繰越金等がありますが、ほかに朝日中学校建設事業等の財源を補うために積立金から、55年度では2億円、56年度で1億円繰入れています。

歳出については、対前年比で2.0%の伸びを示しており、その中でも普通建設事業、失業対策事業、災害復旧事業を総称した投資的経費が全体の43.6%を占めています。

義務的経費である人件費、公債費、扶助費は全体の38.1%を占めていますが、このうち公債費の対前年度比が15.1%と伸びており、これは借入金の増などによるものです。

その他	15,349万円(3.6%)
補助費等	26,771万円(6.3%)
扶助費	27,231万円(6.4%)
公債費	27,630万円(6.5%)
物件費	35,392万円(8.4%)
人 件 費	106,518万円(25.2%)
投資的経費	184,583万円(43.6%)

総額 42億3,474万円



社会福祉、保健衛生関係についてはそのほとんどが、経常的な義務的経費であります。医療費については、対前年度比で54年11.0%、55年8.9%、56年3.1%と下がってきています。

- ▶ 心身障害者医療費……………1,117万円
- ▶ 老人医療費……………1億6,626万円
- ▶ 乳児等医療費……………537万円
- ▶ 保育所運営費……………3億5,069万円
- ▶ 児童手当の給付……………1,847万円
- ▶ 予防接種と住民検診……………1,564万円
- ▶ 泊病院への出資……………4,245万円
- ▶ 簡易水道事業への助成……………831万円
- ▶ 清掃事業等……………6,067万円
- ▶ 住宅建設事業……………1億7,274万円
- ▶ 都市計画街路事業……………7,576万円
- ▶ 道路新設改良事業……………1億3,739万円
- ▶ 流雪溝整備事業……………1,942万円

歳入 2億5,750万円 (5.2%)
 前年度に比べ **歳出 1億4,921万円** (3.1%)
 が増加しました

教育条件の整備

朝日中学校に係る体育館、食堂、給食室等の建設事業の経費が対前年度比で25.9%も下がったものの歳出総額中では10.9%も占めています。



- ▶ 小中学校運営費……………2億3,727万円
- ▶ 朝日中学校建設事業……………4億6,085万円
- ▶ 公民館等社会教育費……………3,830万円
- ▶ 不動堂遺跡整備事業……………3,576万円
- ▶ 総合グラウンド
クラブハウス建設事業
2,930万円

朝日中学校建設事業については56年度で終了しましたが、年次別経費は次のようになりました。▼

年度	事業費	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
54	31,764	14,449	15,270		2,045
55	61,250	21,974	20,120	200	18,956
56	46,085	12,538	19,490		14,057
計	139,099	48,961	54,880	200	35,058

産業基盤の整備

新しい事業としては、山村広場とほ場整備を柱とした第3期山村振興事業が継続事業として開始されました。

- ▶ 水田利用再編対策費……………6,440万円
- ▶ 農道整備事業……………1億7,118万円
- ▶ 農村総合整備事業……………1億2,045万円



- ▶ 林道の開設と舗装……………7,969万円
- ▶ 漁港改修事業……………741万円
- ▶ 漁業集落環境整備事業……………5,830万円
- ▶ 商工業振興費……………5,469万円
- ▶ 観光事業……………1,622万円
- ▶ 山村振興事業……………9,011万円

郷土の保全

- ▶ 防火貯水槽設置……………967万円
- ▶ 防災無線設置……………540万円
- ▶ 災害復旧事業……………925万円

このほかに広域圏事業負担金 8,565万円、公債費 2億7,630万円が歳出の主なものです。

特 別 会 計

	歳 入	歳 出	差 引
国 保 会 計	72,410	68,515	3,895
診療所会計	3,708	3,286	422
簡 易 水 計	2,762	2,718	44
用 水 会 計	395	394	1
奨 学 会 計	27	25	2
保 健 文 化 計	38	38	0

企 業 会 計

	歳 入	歳 出	差 引
収益的収支	122,185	123,054	△ 869
資本的収支	6,991	8,349	△1,358
計	129,176	131,403	△2,227

みんなの の 広場

みんなの広場は、みなさんのページです。あなたの言いたいこと、あなたの仲間たち、あなたの描いたカットや写真、あなたが伝えたい伝言など、また、みんなの広場でこんなことをやったらいのてはというアイデアなど、どんなことでもどしどし広報係までお寄せください。

スポットライト



養豚家 愛場由男さん

●みんなの広場 12

している言葉をたずねると、「初心を忘れず」という言葉が好きで、毎日必ず反省し原点にもどるという心掛けをしているとのこと。

また、何かスポーツをやっていますかと聞くと、自分の力をはきりたしかめることができるのでマラソンをやっているとのこと。

11月7日に行われた町民駅伝マラソンに、6名で合計すると300歳（平均年齢50歳）のチームを作り出場。第5区間（南保小学校総合分校前から中央農協南保支所前までの3.4km）を走り、12分57秒で完走。この区間の最高タイムが11分5秒であることを考えれば、いかに速いかがわかるというもの。米春の魚津しんきろうマラソンに出場し完走したいと目を輝かせておられた。

なお、4年周期で行われる全国養豚大会に出場したいとかで、前に一度出場したものの振るなかつたので、今回こそ県代表になり全国優勝したいと張り切っておられ、豚の選抜に苦戦しているとのこと。張り切るといえば、初めて県共進会への出場権を得たとき、うれしくてつい張り切り過ぎ豚のつみ

▲豚の世話をする愛場さん



先月号で皆さんにお知らせしましたが、10月12日の県畜産共進会で、山崎細野の愛場さんが最優秀賞を受賞し、あわせて農林水産大臣賞を獲得されました。そこで今回は、愛場さんにスポットを当ててみました。

▼愛場さんは、48歳。次男であるため、農業の手伝いをやっていたものの何か手に職をつけ独立しようとして、22歳で畳屋に弟子入りし、昭和37年、28歳で独立し、現在の地に店を構える。畳店の経営とともに、養豚にも着手。大臣賞は53年、54年に次いで3回目。

「好きで始めた養豚、好きなこともあつて愛着心をもつて育ててきました」と言われるだけに、豚舎とは思えないくらい奇麗にしてありました。さて、モットーに

おろしをしている時について足をいため、その時は痛さも感じなかつたものの会が終わってから急に熱が出て、すぐに入院したことがあるとのこと。豚のことにすると止めどがなく話が弾む。本当に豚が好きなんだと感じました。

アメリカ農業は 偉大なる輸出産業

青年の船農業部門に参加して

南保 清水英信さん

アメリカ農業を代表する西海岸、カリフォルニア農業の一端を見聞きして肌で触れることができた。

その第1に、自由経済である資本主義社会の中で、やる気のある者は徹底した努力によって強い者が生き残る（競争原理）、このことが原動力になっていると思われた。

第2に、作物を作るためには恵まれた温暖な地中海性気候である。11月13月までは、雨期、4月10月までは乾期となり、乾期には一滴の



▲自分の田を一回りすると250km

雨も降らず、乾燥し水不足を生じるため、灌漑施設がかなり発達し、これによって必要な時に必要なだけ水を供給できること。

第3に、地平線に広がるセントラルバレーといわれる広大で肥沃な大平原である。さらに、土地が肥えているためN肥料（チンソ）だけでK（カリ）P（リン）肥料が全くいらない土壌であることだ。

第4に、メキシカンをはじめとした安価な労働力の活用と超大型高性能機械やセサナ機による種まき、除草剤、肥料散布、刈取りなど、機械化農業が展開されている

第5に、多くの人種から成り立つ国であり、さまざまな経営形態により250種目に及ぶ農畜産物が生産されている。つまり農産物の8割から9割が専業農家で、有能な頭脳、すぐれた技術、合理的な機械施設、そして精密な計算、計画された経営技術により、低コストな農畜産物が生産されていること。以上の主要要素が基盤となつて、強力な巨大な農業を築いている。



▲メリ巾6mのハーベスタ(コンバイン)

なかまたち 大 家 庄 青 葉 クラブ

「夜間バレーボール 大会に優勝」

10月26日から3週間に渡って行われた第6回町民夜間バレーボール大会。各町内から男子22チーム、女子18チームが参加して大熱戦でした。結果として以来6年目で手にした初の栄冠はひとしおです。もう胸がいっぱいでした。今年からは年齢制限も女子は30

歳までとなり、技術的にも年々向上し、どのチームもさすがに強敵ばかりでした。私達の青葉クラブは、日頃のストレス解消と健康を目的として結成されたママさんチームです。当初はバレーボールの素人ばかりで基本練習から始め、平均年齢も28歳ぐらいで、練習日にもなかなか人が集まらなくて本当に苦労しました。青葉として初めて試合に出場したのが第一回の夜間大会で、これをきっかけとして家庭婦人大会、三町大会、郡大会そして今年はKNB杯と出場しました。しかも今年は運が良かったのか全国家庭婦人大会の都代表として県大会にも出場できました。週一回の練習が実り、これも日頃のチームワークの良さ、なんといっても家族の理解と協力があったからと心から感謝しております。



す。また今春から新しいコーチを迎え基本を中心に体力づくりに励んでいます。

この優勝を励みに、チームの和と前進を願ってクラブ員一同いっそう努力したいと思っています。

今月の表紙

桜町柔道 スポーツ少年団

柔道の桜町、四十年余りの伝統があります。

毎年の暑中けい古、寒けい古では、強い心、たくましい身体づくりが不十分というところで、年間を通して練習に励むことにし、昭和四十八年に結成されました。

柔道で自分を鍛えようと、三つの小学校から集まっています。三年生から六年生までいますが、技能や態度、練習量等の総合的



●みんなの広場 13

子ども作品

米消費拡大

小学生ポスター

図画標語展を開催

11月1日、2日朝日町中央農協会館において、今年も各小学校より米の消費拡大をめざした小学生ポスター図画標語展が開催され優秀な作品が多数展示されました。審査の結果は次のとおりです。

図画の部

最優秀賞

山崎永寿（境小三年）
狩谷理華（五箇庄小二年）
水島まこと（境小一年）

ポスターの部

最優秀賞

金井尚子（五箇庄小六年）
七沢 誠（山崎小五年）
竹内里美（蛭谷分校四年）

標語の部

最優秀賞

中谷 郁（宮崎小六年）
右井不二夫（大家庄小五年）
中山 覚（南保小四年）

「じいやあなんだ！」

います。「寒い冬コタツに入り、チヨロギをお茶受けとして一家団らんの一時を過ごしませんか」とは関係者のチヨロギ推薦の弁

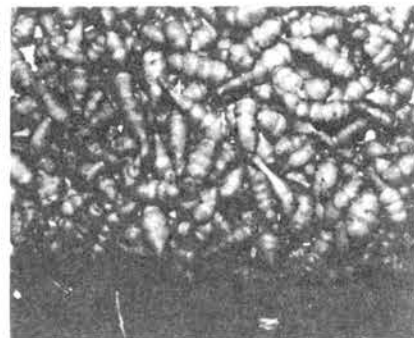
グランドデューク

日本名で「株かんらん」と称し、写真のようにかんらんの葉が株の所々から出ていて、まるで宇宙人みたいなユニークな形をしています。草野の篠田和夫さんの出品で、今回努力賞を受賞しました。

用途は広く、一般的には、皮をむいて5cmぐらいの輪切りにし、塩ゆでにしてから、ソテーにしたり、ホワイトソースを掛けると美味しく、また生のまま塩もみにし、サラダにしたり、甘酢で和えたりすることもあります。さらに煮物や浅漬けなどにも用いることができます。

出品者の篠田さんは、作り方も簡単で、浅漬けにすると、とても美味しく近所の人達からも珍しがられていますと話しておられました。

このほか品評会には、もはやお馴染みとなった「朝鮮ウリ」のほか、ハブ茶、パンタ豆、ハトムギ、オーレンなど珍しい物が多数出品され、人目を引いていました。



▼チヨロギ

チヨロギ

殿町の鹿熊マキさんが出品されたもので、一見さなぎのような形をした2cmぐらいの根菜類で、梅酢漬け、しょう油漬け、酢漬けなど、主に漬物として利用するそうです。全国的には、福井県や岐阜県等で盛んに栽培され、柴漬けなどに加工し出荷されています。2年から3年前に、入善農業改良普及所が県内に初めて導入し、婦人グループを中心に栽培されて



▼ポスターの部最優秀賞
金井尚子さんの作品

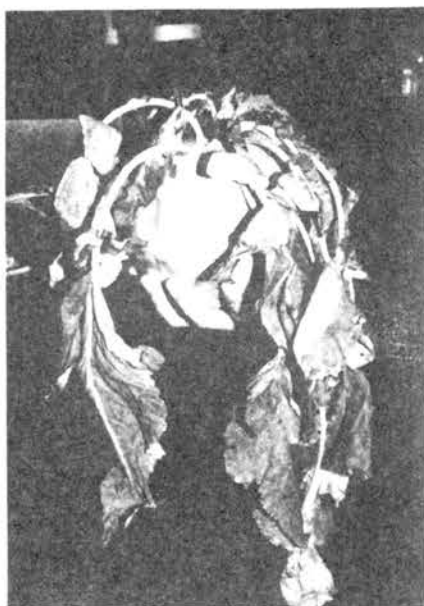
郷土の伝説 西 東

(81)

境の関所は天下の険といわれた箱根の関所にも勝るとも劣らない規模のものであった。街道の関所のほか海辺には浜番所もあり、舟の往来や人の通行の監視もなされるなど見張りがきびしい関所であった。

昔、一人の坊さんが関所を通ろうとしたが、手形がなく関所抜けをしようとして太平の谷間ぞいに道を歩いていた。抜け道はたやすいものでなく、木の根や岩に足をとられとられ歩いたが、とうとう足を踏みはずして高い崖から滝淵

▼グランドデューク



滝に落ちた坊様

○大平・蛭谷○

に転落してしまった。それからはこの淵を坊様滝と呼ぶようになったという。

大平の奥山の反対側に蛭谷村があるが、この村の荒戸谷の奥にも坊様が関所抜けの時、滝に落ちたとの話が伝えられているが、両方の村にはこの滝がどこにあるのか知る人は今



▲写真は大平の奥にある滝淵

朝日町美術展 — 講評 —

第3回朝日町美術展が10月31日より11月3日まで開催され、出品数222点、入場者数1,790人と、盛況のうちに幕を閉じることができた。

絵画部門

堅実な歩をつづけ、一段と進歩の跡が見えるのは喜ばしい。水墨画、版画、水彩、油絵と個性ある清新な作品が多く何よりのことです。受賞には何らかの差があるかも知れないが、実際は各自の信ずるままに一步ずつ前進してください。それが楽しくもあり、苦勞のしどころだと思えます。

町展大賞 谷 智恵子

画面構成もよく堅実な表現には好感がもてる。グレイ系統で深味もあり、堂々たる作品です。

町展賞 池田 実

墨一色で黒の美しさとハーフトーンのよく出た温和な佳作です。

町展賞 山本 仁子

画面には必要なものだけを取入

▼谷さんの作品



審査員 炭田 幸一

書部門

▼大菅さんの作品



れ、自分のねらいを一段と確かなものとしている。審査員は立派に主役をつとめ、色もなかなかよい。

奨励賞 砂田 良弘
奨励賞 木島 植久
奨励賞 川端 泰吉
佳作 田畑 林弥、野沢 信次
永井 宗聖、水島 和子

審査員 水島 藍潮

町展大賞 大菅 澄子
清韻にして筆よく暢びた。自ら佳品となっている。

町展賞 水島 良子
毎回細やかな情懷に敬服。作品に山場があればさらに光る。

町展賞 中島 恭子

全体によくまとめた。前半の格調を最後まで持続してほしい。

奨励賞 鹿熊 和子

彫刻・工芸部門

前回より出品点数が十点も増加した点は評価されますが、作品内容はかならずしも向上したとはいえないのが少々心残りです。今回の受賞作品は彫刻系から皮革・陶芸系へと流れが変わった点が注目されます。特に工芸作品はあらゆる素材を用いて、その特性を生かし種々バラエティに富んだ作品を生み、作者の心を現わすものでありますから、今後一層のご精進を願っております。

町展大賞 魚津 照子

皮革パネルで皮のもつ特性を生

写真部門

上位入賞作品はともに安定した画面構成で、仕上げも美しく、いずれもそのない作品です。

町展大賞 深見 弘夫

粗粒子仕上げて、写真とは思えないハステルで画いた日本画を思わせる幻想的な異色作であり佳作である。

選外作品全般にいえることは、それぞれが良き素材に取り組み意欲的な製作に当たっているが表現方法において、作者の意図したものが十分に画面に写し込まれていないように思われる。安易な気持ち

奨励賞 石川 明美

奨励賞 土居とみ子
佳作 根建 浩子、南茂由香利、深松多恵子、上沢 正一

審査員 殿村 芳謙

かし、技法もかなりしっかりとした努力作である。しかし、表現の突っ込みが少々甘く、造形力を弱くしている点が気がかりです。

町展賞 上沢 優子

石こう像で現代の若い女性の清純さを現わす意気込みが感じられるが四肢のアンバランスが目立ちます。

奨励賞 大菅千之、河端清次郎

佳作 魚津道子

細田澄江、阿部不二子、沢泉房子、下沢 正彦、浅川初子

審査員 林 完

で撮った作品は内容も乏しく感性に欠ける。被写体に対しては心で取り組み、心で写すよう心がけるべきだと思います。ものまね的な発想はやめて、もっと各自の個性を生かしたユニークな感覚で作品を制作されることを望みます。

町展賞 稲垣清之助、辻 斉

奨励賞 折谷かほる
伊東千鳥、大谷邦寛、長井琢雄、山崎俊則



町出身の青柳さん 不動堂に美術館を建設

国指定史跡、不動堂遺跡の隣接地に、舟川出身の青柳政一氏（旧姓・由井）が百河豚（いっぽく）美術館を建設されることになり、10月31日、起工式が行われました。

約6千平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート造り2階建て延べ498平方メートルの美術館を一億円で58年6月ごろまでに完成させるもの。開館は秋からの予定で、青柳氏所蔵の国宝級93点を含む美術コレクション約一千点が展示されることとなります。



青柳さんによる
鉄入れの儀

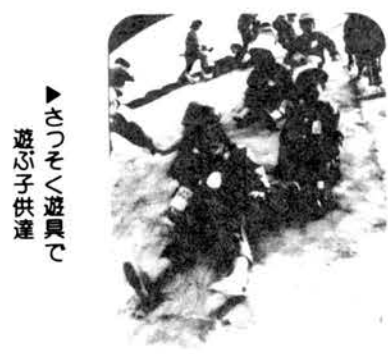


「暁の超特急」 吉岡さんが 短距離走の基本指導 学校田の米は おいしい



大家庄小学校では、11月12日に全校生徒が講堂に集まって農場祭を開き、学校田で収穫した米で作った五目ご飯を食べました。

農場祭には、祭壇に手作りの新米を供え、おはらいとお祈りをしたあと、米作りに直接当たった五年生の石井不二天君が、収穫までの苦勞を発表、お父さんや母さんの苦勞がわかりましたとのべ、みんなで楽しく会食しました。



さつそく遊具で
遊ぶ子供達

金山に 農村公園が完成

農村総合整備事業として進めていました金山農村公園が完成しました。公園は、敷地1800平方メートル、1142平方メートルの運動広場とブランコや回転滑り台などを設けた遊園地があります。工費は1289万円でした。



クリスマス 子供読書会

日時 12月25日(土)
午後1時30分
場所 福祉センター(研修室)
対象 6歳から小学校3年生
テキスト 「うさぎましろのお話」

「テキスト内容」

白うさぎの子・ましろはサンタクロースからもらったクリスマスプレゼントのケーキをペロリと食べてしまひ、別のものがほしくなる。いろいろの燃えがらの炭を体にこすりつけて、黒うさぎに化け、こんどは、サンタクロースのおべんとうのサンドイッチとモミのタ

おめでたとおくやみ



宮崎	宮崎	南保越	○ 境	入善町	○ 境	寺田悦博	龜田美鈴	水島博文	坂藤真弓美	竹林千秋	竹林千秋	宮崎	宮崎	宮崎
宮崎	宮崎	南保越	○ 境	入善町	○ 境	寺田悦博	龜田美鈴	水島博文	坂藤真弓美	竹林千秋	竹林千秋	宮崎	宮崎	宮崎
宮崎	宮崎	南保越	○ 境	入善町	○ 境	寺田悦博	龜田美鈴	水島博文	坂藤真弓美	竹林千秋	竹林千秋	宮崎	宮崎	宮崎
宮崎	宮崎	南保越	○ 境	入善町	○ 境	寺田悦博	龜田美鈴	水島博文	坂藤真弓美	竹林千秋	竹林千秋	宮崎	宮崎	宮崎
宮崎	宮崎	南保越	○ 境	入善町	○ 境	寺田悦博	龜田美鈴	水島博文	坂藤真弓美	竹林千秋	竹林千秋	宮崎	宮崎	宮崎

おしあ
わせに



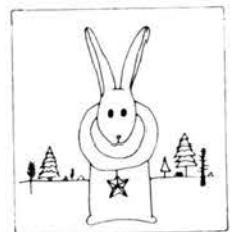
宮崎	西下町	清水町	西町	本町	松涛町	荒川三丁目	荒川四丁目	上道下	平柳二区	坊	坊	小在池	殿町	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎
----	-----	-----	----	----	-----	-------	-------	-----	------	---	---	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

おくやみ



宮崎	口岩 晃 長男 航	宮崎	本 町	舟川 幸伸 長男 雄 祐	松崎	大村 茂 二男 俊 介	荒川	三子 目 舟見 栄 二男 孝 太	荒川	四子 目 水野 和之 長女 賀 代	上道	下 区 竹中 寛 長男 香 貴	平柳	二区 平田 俊彦 長女 裕 子	坊	七澤 宣夫 長男 和 樹	坊	七澤 純一 二男 宣 允	小在	池 七澤 英次 長男 和 博	殿	町 大井 憲二 二女 直 子
宮崎	口岩 晃 長男 航	宮崎	本 町	舟川 幸伸 長男 雄 祐	松崎	大村 茂 二男 俊 介	荒川	三子 目 舟見 栄 二男 孝 太	荒川	四子 目 水野 和之 長女 賀 代	上道	下 区 竹中 寛 長男 香 貴	平柳	二区 平田 俊彦 長女 裕 子	坊	七澤 宣夫 長男 和 樹	坊	七澤 純一 二男 宣 允	小在	池 七澤 英次 長男 和 博	殿	町 大井 憲二 二女 直 子
宮崎	口岩 晃 長男 航	宮崎	本 町	舟川 幸伸 長男 雄 祐	松崎	大村 茂 二男 俊 介	荒川	三子 目 舟見 栄 二男 孝 太	荒川	四子 目 水野 和之 長女 賀 代	上道	下 区 竹中 寛 長男 香 貴	平柳	二区 平田 俊彦 長女 裕 子	坊	七澤 宣夫 長男 和 樹	坊	七澤 純一 二男 宣 允	小在	池 七澤 英次 長男 和 博	殿	町 大井 憲二 二女 直 子
宮崎	口岩 晃 長男 航	宮崎	本 町	舟川 幸伸 長男 雄 祐	松崎	大村 茂 二男 俊 介	荒川	三子 目 舟見 栄 二男 孝 太	荒川	四子 目 水野 和之 長女 賀 代	上道	下 区 竹中 寛 長男 香 貴	平柳	二区 平田 俊彦 長女 裕 子	坊	七澤 宣夫 長男 和 樹	坊	七澤 純一 二男 宣 允	小在	池 七澤 英次 長男 和 博	殿	町 大井 憲二 二女 直 子
宮崎	口岩 晃 長男 航	宮崎	本 町	舟川 幸伸 長男 雄 祐	松崎	大村 茂 二男 俊 介	荒川	三子 目 舟見 栄 二男 孝 太	荒川	四子 目 水野 和之 長女 賀 代	上道	下 区 竹中 寛 長男 香 貴	平柳	二区 平田 俊彦 長女 裕 子	坊	七澤 宣夫 長男 和 樹	坊	七澤 純一 二男 宣 允	小在	池 七澤 英次 長男 和 博	殿	町 大井 憲二 二女 直 子

子うさぎましろのお話



○お友達といっしょにうさぎましろのお話を読んでみましょう。

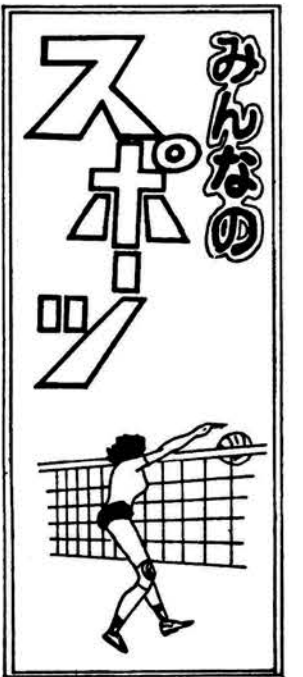
善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉のためにと次の方々から善意の預託がありました。

▼山崎 とく名さんより一万円を山崎保育所へ指定寄付

▼朝日町盆栽愛好会さんより盆栽展示即売コーナーの売り上げ金の一部を二万円



優勝は五箇庄Aチーム

第5回町民駅伝マラソン大会

第5回町民駅伝マラソン大会は、11月7日泊病院前をスタート、総合体育館をゴールに約17キロコースで、地区対抗の部15チーム、クラブ対抗の部20チーム、女子の部6チームの計41チームが参加して熱戦が展開されました。地区対抗の部では五箇庄体協Aチームが大会新記録で3年ぶり3回目の優勝をかき、クラブ対抗の部では泊高校野球部Aが、女子の部では朝日中学バレー部がともに初優勝をとげました。また、地区対抗に出場した山崎チームは、選手の合計年齢が30歳という高齢構成で参加し、最高年齢の長津清平さん(57)が特別賞を受けられました。成績は次のとおりです。

▽地区対抗の部

①五箇庄体協A 58分35秒
②南保体協A 58分42秒
③大家庄体協A 59分11秒

▽クラブ対抗の部

①泊高校野球部A 59分46秒

▽区間賞(地区対抗)

第一区間 森野繁樹 8分03秒
第二区間 佐々木和弘 9分01秒
第三区間 堀田安信 10分03秒
第四区間 黒崎信夫 12分44秒
第五区間 由憲 11分16秒
第六区間 根建藤夫 8分22秒

▽区間賞(女子の部)

第一区間 小杉有美 9分27秒
第二区間 横越博子 10分42秒
第三区間 広田万里 12分19秒
第四区間 藤田志保美 15分03秒
第五区間 由井咲子 13分12秒
第六区間 川瀬亜紀子 9分47秒

スポーツ行事成績

第29回町民バレーボール大会

決勝 大家庄C 2-1 大家庄D

▽男子の部

準決勝 山崎2-0 境
決勝 泊二区2-1 大家庄

▽男子二部

準決勝 宮崎2-0 五箇庄
決勝 大家庄2-0 境

▽女子の部

準決勝 泊二区2-0 大家庄
決勝 泊三区2-0 五箇庄

▽女子二部

準決勝 大家庄2-0 泊一区
決勝 山崎2-0 泊三区

第6回夜間バレーボール大会

決勝 大家庄C 2-1 大家庄D

▽男子の部

準決勝 三浦町2-0 平柳A
清水町2-0 殿羽クラブ
決勝 三浦町2-1 清水町

▽女子の部

準決勝 青葉クラブ2-0 笹川
中本町2-0 荒末栄
決勝 青葉クラブ2-0 中本町

第一回町民ビーチバレーボール大会

▽男子の部

準決勝 泊一区A 2-1 宮崎
大家庄A 2-0 泊一区B
決勝 大家庄A 2-0 泊一区A

▽女子の部

準決勝 大家庄C 2-1 泊一区C
大家庄D 2-0 大家庄A

第一回児童クラブビーチバレーボール大会

▽小学校の部

準決勝 松涛町A 2-0 松涛町B
赤川B 2-1 西町
決勝 松涛町A 2-1 赤川B

▽中学校の部

準決勝 西町B 2-0 桜町A
月山2-0 荒川四丁
決勝 西町B 2-0 月山

愛の献血

協力者

10月実施分

境地区 松倉三奈、水島寿
宮崎地区 扇谷美智代、大浜清光、嘉義岳春、水島敏彦、水島利晴、加藤貞子
笹川地区 折谷秀吉
泊一区 竹内由美子、武田亮、藤條陽子、土居祥浩、渡川正和、大島喜芳
泊二区 水島由紀子、小澤明、松原志好、長谷宏昭、荒尾ヤス子、水島美保子、魚津多加志、河内幸一、米田真司、佐渡由華子、荒尾和彦、米田雅行、高松正安、水島義武
泊三区 中島賢一、沢田真澄、柳下紀子、川合俊雄、込尾新作、阿部行夫、右井弥吉、平坂正治、折谷律子
五箇庄地区 山手真理、沢田祐子、上杉数人、南茂博子、岡島進、西田真佐夫、浜川治、舟見恵一、石渡富美恵、浜川克己
南保地区 長崎猛、谷口久美子、谷口繁一、谷口誠一、松原俊一、山崎地区 花房淳司、山崎英樹、河端志津子、池田玲子、久我口良子、九里真、安達進、仙名



スキー教室参加者

◇期 日 昭和57年1月22日(土)
から24日(月)まで2泊3日

第2回健康づくり町民のつどい

吉岡隆徳氏が特別講演



元オリンピック選手
吉岡 隆徳氏

講演の要旨

①頭のボケが少なくなります

▼ジョギングをする方へ

先ず無理をせず、特に「ゆっくり」これが基本です。歩いたり、走ったりをゆっくりに交互に行うことです。

①1分ジョギングと1分歩く

②2分 " 3-5回

③5分 " 6-8回

④10分 " 3-5回

⑤20分 " 2-3回

⑥30分 " 1回

以上は20分間定走のための標準的なもの。

「心の育て方」

12月の



夜もろくに寝ないで乳を与え、おむつを取り替えず一生懸命に育てたのに、子供が大きくなるにつれて生れた時に考えた期待とは違った性格や人柄になり、なぜ変わってしまったのかと悩むお母さんがおられます。

子供の心や頭を発達させる要素は、子供を取り巻く環境で、育児が成功するか失敗するかは、この環境の良し悪しにかかっています。その中でも最大最強の影響をもっているのは、お父さんとお母さんを中心とする人間で、表情、動作、言葉などの刺激の性質、量、強弱が、育児のすべてを決定するといっても言い過ぎではありません。ほとんどのお母さんは、子供が生まれるとまず丈夫な体で病気が怪我をさせまいと努力し、3歳ぐらいまでは、体のことばかりに気を配り、心や頭のことを忘れがちだと思います。三つ子の魂百までも、と言われるように、生後約3年間は、とても大切な時期です。

この時期こそ、お父さんお母さんが子供の受けている刺激の良い、悪いを判断し、良い物だけを子供に与えてほしいものです。お父さんお母さん頑張ってください。

健康づくりに対する意識を高めたい。だいたい、11月13日、黒部保健所と朝日町保健衛生協議会の協賛を得て「朝日町健康づくり町民のつどい」を中央農協会館で開催しました。

各種健康ハネルの展示や健康相談、食生活改善コーナー、農協の好意による貧血予防野菜の特売コーナーなどを設け、盛況のうちに終了しました。

また、元オリンピック選手の吉岡隆徳先生を迎えて特別講演会を開催。「私とスポーツ」のテーマで約200人の聴衆に約2時間にわたって「走るが私の友達」と人生哲学を織込んだ感銘深い話をされました。

みんなの保健

1月の事業案内

事業	対象者	日(曜)	時 間	会 場	対象地区	備 考
母子保健	母親学級	妊 婦	28 ㊦ 午後 1:00～3:00	保健センター	全 地 区	「妊娠中の心得」 母子手帳持参
	3ヵ月児健診 股関節脱臼検査	57年10月生	31 ㊦ 午後 1:00～1:30	泊 病 院 整 形 外 科	全 地 区	母子手帳持参 検査料 2,000円
	1歳6ヵ月児健診	56年6、7月生	27 ㊦ 午後 1:00～2:00	保健センター	全 地 区	母子手帳持参
成人病予防	健康体操教室	希 望 者 (婦 人)	11 ㊦ 午前 9:30～11:00 18 ㊦	保健センター	全 地 区	
	貧血教室	希 望 者	20 ㊦			健康手帳持参
	糖尿病教室	希 望 者	12 ㊦ 午後 1:00 28 ㊦	保健センター	全 地 区	
	成人病教室	希 望 者	18 ㊦			
食生活改善	巡回栄養指導	婦 人	23 ㊦ 午後 1:30～3:30	境 公 民 館	境	
			"	沼保公民館	沼保、荒川	
			30 ㊦ 午前 9:30～11:30	大 家 庄 農 協	金 山、窪 田	
			午後 1:30～3:30	栄 町 会 館	栄 町、末広町	
定期健康相談	母子健康相談		13 ㊦			
	一般健康相談	希 望 者	21 ㊦ 午後 1:00～3:00	保健センター	全 地 区	定期日以外でも保健 婦、栄養士が駐在し ているときは相談を 受けます。
	栄養健康相談		25 ㊦			

月日のたつのは早いもので、もう12月。今年最後の広報あさひをお送りします。

今年はいろんなことがありました。中学校が、校になり、町の将来を決める選挙、長年の懸案だった朝日発電が実施にうつされ、また皆さんにとって昭和57年はどんな年でしたか。そんな年であっても、やがて来る新しい年を希望している年にするためにも、度々おみえ反省をするのもいいのでは。



1月の休日救急診療当番医

1月2日(土)	草 野 病 院	☎(2)1135
1月3日(日)	伊 中 医 院	☎(3)0504
1月9日(土)	高 松 医 院	☎(2)0010
1月15日(金)	崎 医 院	☎(2)0791
1月16日(土)	正 医 院	☎(2)1285
1月23日(土)	寺 崎 医 院	☎(2)1118
1月30日(土)	中 田 医 院	☎(2)0120